

## 第7回 全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会 福井大会が開催されました

理事長 長谷川 美智代

1月20日に福井県民ホールにて、第7回全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会 福井大会が、令和元年度の熊本大会以来3年ぶりに参集型で開催されました。

今回は、コロナ禍における最初の全国大会ということもあり、内容も式典のみで、午後からの開催で時間短縮を図り、参加者も各正会員の代表者と表彰対象者のみに限定して人数制限をする等、感染防止対策のもと実施されました。

また、理事長に就任して参加した初めての全国大会でしたので、全国連合会の総会や近畿ブロック会議等でインターネットの画面越しに顔を拝見する方々と、直接にお会いできる貴重な機会となりました。他の府県の育成会の中には、私と同様にコロナ禍で様々な制限が始まってから理事長や会長になられた方もおられ、互いに感じていた不安も共有でき、また、励まされた大会でもありました。



最初に大会会長である久保会長からご挨拶があり、その中で、国連で指摘されたことを踏まえ、育成会としても本人に国の会議に出てもらうことを目標に取り組んでいきたい。そのために親はどのような支援が必要かを考え、本人には育成会の活動のみならず地域で同じような活動をしながらか練習や体験を積み、そして段階を踏んで国の会議に参加できるように力をつけていってほしい。現況を整えながら、皆で同じ方向、同じ思いで、本人を中心とした活動を行っていきたくて話されました。

その後、全国手をつなぐ育成会連合会会長表彰の表彰式が行われ、久保会長から表彰状の授与がありました。大阪市育成会からは、長年育成会活動にご尽力いただいております中島副理事長が受賞されました。おめでとうございます。

中島副理事長からもお礼のメッセージがありましたので、ご紹介をさせていただきます。

### <中島副理事長謝辞>

この度、福井大会におきまして、全国育成会連合会より表彰いただきました。ひとえに先輩の皆様方のご指導の賜物と、感謝しております。

これからも親の会活動に尽力いたしますので、どうぞよろしくをお願いいたします。



【会長表彰を受賞された 中島副理事長】



### 啓発活動を行いました

理事長 長谷川 美智代

1月29日にコスモス成年後見サポートセンター大阪府支部のご依頼を受け、啓発キャラバン隊「YO〜おこし」のメンバーで、啓発活動を行いました。今回は、行政書士の方々の研修会における啓発活動で、事前に大阪府行政書士会の会報誌でも「知的障がい・発達障がいのある人の困りごとを体験してみよう」のタイトルで告知していただき、当日は、約20名の参加がありました。

成年後見人として活動しておられる行政書士の皆様が対象ですので、これまでのプログラムの内容も見直し、大人向けの新たな啓発プログラムを作成して臨みました。

まず初めに、知的障がい・発達障がいとは、どのような障がいなのかを知ってもらうために、私たち「YO〜おこし」が作成したDVDの障がいの説明部分を見もらいました。そして、障がい特性や生活の中での困りごとを理解して頂いてから、疑似体験を通して障がいのある人の困り感を実際に体感して頂きました。

疑似体験は

- ① 言葉の理解が難しい人の体験「けろけろ王国体験」
- ② 曖昧な言葉がけに対する困り感の体験「絵に描いてみよう」
- ③ 人によっていろいろな見え方があるという体験「どんなふうに見えるのかな？」
- ④ 音を選んで聞くことが難しい人の体験「どんなふう聞こえるのかな？」

以上4つの体験を行いました。最初のDVDを視聴されている時から、皆さん真剣なまなざしで、会場の空気も